２０２４年（令和６年）１１月３日　日曜日

デーリー東北　１８面　掲載

野西、青森山田決勝へ

全国高校サッカー
青森県大会

第103回全国高校サッカー選手権青森県大会2試合を行った。27連覇中の青森山田は八学光星に4－0、悲願の初優勝を目指す八学野西は三農恵拓に8－0でそれぞれ快勝した。決勝は8年連続で同じ顔合わせとなった。

第4日は2日、青森市カクヒログループアスレチックスタジアムで準決勝を行われる。午後0時キックオフ。（桑田友人、加藤弘也）

▽準決勝
青森山田 42－00 八学光星
21－0
▽得点＝中島、別府、深瀬、比嘉（青）
八学野西 83－00 三農恵拓
51－0
▽得点＝成田2、堀田、奈良2、芳田、千葉、山岸（八）

決勝は4日、同会場で

【準決勝・三農恵拓―八学野西】前半17分、八学野西は成田涼雅（右）がヘディングを決めて先制する＝青森市カクヒログループアスレチックスタジアム

野西、８得点快勝

２トップ躍動

○…初の頂点に王手をかけるゴールラッシュ！八学野西は三農恵拓との準決勝で8得点と圧倒的な攻撃力を見せつけた。

2得点と活躍したFW成田涼雅は「3年間やってきたものを、やっと青森山田に出せる時が来た」と大勝を喜んだ。

序盤から成田と堀田一希の2トップが躍動した。前半17分、高坂碧の左クロスに成田がヘディングで先制すると、7分後はロングパスから堀田が右サイドを一人で突破して追加点。33分には成田の技ありボレーシュートで加点した。

シュート本数も18－4と圧倒。決定機をほぼ与えず、「1年間、失点しないことにこだわってきた」（成田）という、鍛え上げた守備も光った。

6月の県高校総体決勝は決定機を生かせず青森山田に0－1で敗れた。県リーグ1部の終盤から今大会まで得点を継続中の成田は「この調子で得点を挙げて勝ちたい」と、絶対王者に再び挑戦状をたたきつけた。

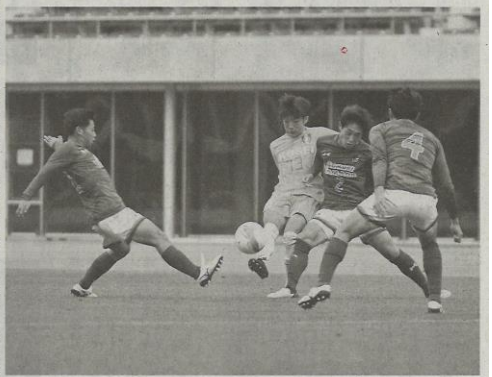
光星、劣勢打開できず

○…全国高校サッカー選手権青森県大会で、8年ぶりの決勝進出を目指した八学光星だったが、常勝軍団を前に力負けした。激しいプレッシャーを前に意図した攻撃を展開できず、放ったシュート数も2本にとどまった。

攻守の切り替えやセカンドボールへの集散で出遅れ、終止主導権を握られる展開。最少失点で折り返したかったが、前半40分には、一瞬の連携ミスから自陣でボールを奪われ、0－2と離された。

後半も粘り強い守備で何度も窮地をしのいだが、相手が投入する控え選手を前に運動量が及ばず、劣勢を打開できないまま試合を終えた。

先発のうち6人が2年生の若いチーム。フォワードの3年戸田晴道は「今年感じた悔しさを忘れず、もっと良い結果を残してほしい」と後輩に託した。



【サッカー男子準決勝・八学光星―青森山田】後半、八学光星は高橋悠真（13）が攻める

デーリー東北新聞社提供